
マイナンバーカード活用事例

株式会社 日立製作所

1 養父市におけるマイナンバーカード活用事例

・マイナンバーカードや養父市が独自で発行する住民IDカード、エリアデータ連携基盤を活用した住民向けサービスの創出を推進

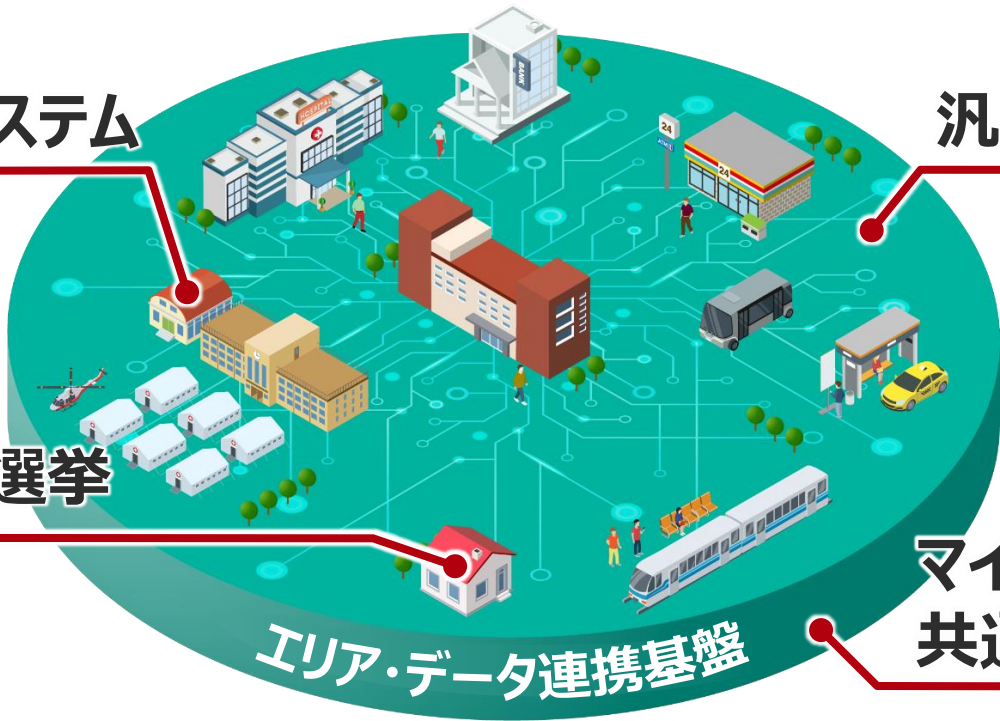
避難所管理システム

汎用デジタル窓口

オンライン投票選挙

エリア・データ連携基盤

マイナンバーカード
共通認証サービス

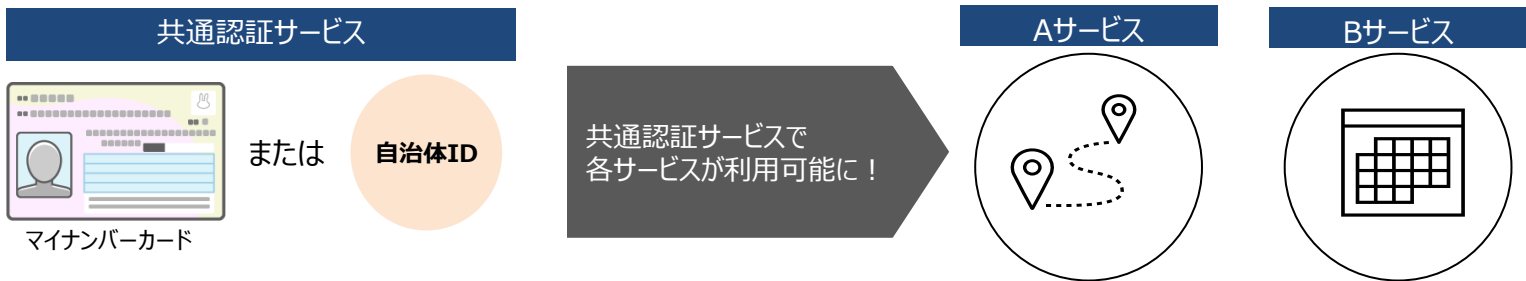


2 共通認証サービス

課題 サービスごとにIDとパスワードが必要だったため、
住民には入力や管理の負担、職員には運用コストがかかる

対策 各サービスの窓口として認証基盤サービスを導入することで、**サービスを横断したID管理を実現**
共通認証サービスのログインには、マイナンバーカードまたは自治体独自の住民IDカードを利用

マイナンバーカードにより本人確認を統一化することで、
各サービスへのログインを一つのIDに統合し、
サービスごとの個別ID管理の手間を削減



3 オンライン投票システム

課題

距離や時間的制約により投票が困難な住民がいるが、
オンライン投票選挙は本人確認の難しさや不正投票などのリスクがある

対策

マイナンバーカードの利用者証明用電子証明書による厳密な本人確認と、
署名用電子証明書による署名で、不正投票防止を可能にするシステムを導入
※今後、養父市では電子投票も組み合わせた投票についても検討予定

現時点での活用方法



公職選挙以外の
イベントなどでの
オンライン投票



公職選挙の
期日前投票での
宣誓情報の入力

将来構想 ※法整備が必要



期日前投票では、住民は投票所に足を運ぶことなく、
自宅など好きな場所から安心・安全に投票することが可能に

4 避難所管理システム

課題 災害発生時、被災情報などの確認に時間がかかり、避難所の受付が混雑してしまう

対策 住民は避難する前に被災情報などを登録することで、避難所の入所受付時は自治体独自の住民IDカードまたはマイナンバーカードをかざすだけで入所可能（事前登録がない場合も、受付で必要事項を伝えれば入所可能）

パーソナルデータ連携基盤により個人情報を参照することで、略字や読み方なども含め正しい情報を災害対策本部に連携可能

入所時の受付情報がそのまま名簿データになる

氏名	性別	年齢	住所	登録日時	備考
山田太郎	男	35	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	2023/02/13	
山田花子	女	32	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	2023/02/13	
山田一郎	男	30	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	2023/02/13	
山田美咲	女	28	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	2023/02/13	
山田健太	男	25	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	2023/02/13	
山田さくら	女	22	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	2023/02/13	
山田大輔	男	20	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	2023/02/13	

避難所ごとの備蓄品を一覧化
避難所間の共有も可能

ID	品名	数量	登録日時	有効期限	場所	
1	食料	レトルトカレー	9,999,999	2023/02/13	2023/02/13	山田
2	食料	アルファ化米	9,999,999	2023/02/13	2023/02/13	山田
3	食料	アルファ化米	9,999,999	2023/02/13	2023/02/13	山田
4	食料	アルファ化米	9,999,999	2023/02/13	2023/02/13	山田
5	食料	アルファ化米	9,999,999	2023/02/13	2023/02/13	山田
6	食料	アルファ化米	9,999,999	2023/02/13	2023/02/13	山田
7	食料	アルファ化米	9,999,999	2023/02/13	2023/02/13	山田
8	食料	アルファ化米	9,999,999	2023/02/13	2023/02/13	山田

避難所ごとの混雑状況を可視化し、最適な誘導を実現



※画面はイメージです。
導入団体数：1(養父市)※2025年1月時点

5 汎用デジタル窓口サービス

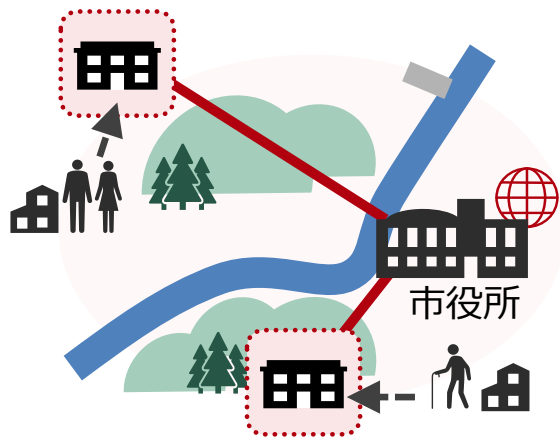
課題

市役所の遠方に住んでおり、かつデジタルに不慣れな住民は、簡易な手続であっても時間と労力をかけて市役所に行っている

対策

対面に近い形で対応できる汎用デジタル窓口*を活用した遠隔行政窓口を各地区の自治協議会に設置
マイナンバーカードを活用し、利用者の基本4情報を職員側端末に表示

*「汎用デジタル窓口」は、生活圏の身近な場所(出張所や公民館など)から、オンラインで自治体や民間企業の窓口サービスを横断的に利用できるサービスです。



**自宅に近い拠点から、
市役所にいる職員に
相談しつつ、書類を書く
など対面に近い形で
手続可能**

6 エリア・データ連携基盤（都市OS）

課題

マイナンバーカードを活用した住民向けサービス実現のために、データを安全に管理しながら各サービスを連携させたい

対策

住民に紐づくデータを安全に管理しながら、サービス間で連携が可能な基盤を構築

アプリケーション・サービス	行政	ヘルスケア	防災	社会インフラ	観光	支払い	教育	食・農業	エネルギー
---------------	----	-------	----	--------	----	-----	----	------	-------

共通機能	ポータル	マイナンバーカード連携・地域ID	ID認証	セキュリティ・トラスト	同意管理・匿名化	決済・地域通貨	AI・データ分析	可視化・ダッシュボード	企業間連携
------	------	------------------	------	-------------	----------	---------	----------	-------------	-------

エリア・データ連携基盤（都市OS）	サービス連携	開発者ポータル	データカタログ	オープンAPI	インフラ・セキュリティ
		API管理		都市OS間連携	
	認証	認証・認可		ユーザー管理	
	サービスマネジメント	サービス管理		利用履歴管理	
	データマネジメント	データ仲介「非パーソナル」 FIWARE Orion Context Broker	データ仲介「パーソナル」 国の推奨モジュール		
	アセットマネジメント	デバイス管理		システム管理	
外部データ連携	データ処理	データ伝送	分野間データ連携		

データ	自治体データ	国・準公共データ	民間データ	...
-----	--------	----------	-------	-----

政府の指針に沿ったシステム・モジュールを採用

- 内閣府のスマートシティリファレンスアーキテクチャに準拠
- エリア・データ連携基盤における推奨モジュールを採用

ニーズに合わせた柔軟な導入、機能拡張が可能

- お客さまのニーズに合わせた段階的な導入、機能拡張、共通機能の利用が可能
- パーソナルデータ、非パーソナルデータのどちらも取り扱い可能

本件に関するお問い合わせは、
以下の日立製作所のお問い合わせフォームよりお願いいたします。

https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/public/app/form_input.jsp?q=smart



Hitachi Social Innovation is
POWERING GOOD